

レンバツハハウス美術館所蔵

# カンディンスキー と青騎士

KANDINSKY and THE BLUE RIDER  
from THE LENBACHHAUS, MUNICH

色彩革命！モダン・アートはここから始まった。



ヴァシリー・カンディンスキー《「コンポジション」のための習作 2》 1913 年

拝啓

早春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は兵庫県立美術館の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて当館では平成 23 年 4 月 26 日（火）から 6 月 26 日（日）まで「色彩革命！ - モダン・アートはここから始まった。レンバツハハウス美術館所蔵 カンディンスキーと青騎士」展を開催いたします。

20 世紀初頭のドイツ・ミュンヘン。ロシア生まれの巨匠ヴァシリー・カンディンスキー（1866-1944）は、仲間とともに斬新な絵画作品を生み出し、1911 年、新しい美術運動を展開させるべくグループを結成しました。それが「青騎士」です。彼らは展覧会の開催や書籍の刊行を通して、モダン・アートの歴史に輝かしい足跡を残しました。

この展覧会では、カンディンスキーの伴侶であった画家ガブリエーレ・ミュンター旧蔵の作品を中心に、ミュンヘン市立レンバツハハウス美術館が所蔵する世界屈指の青騎士コレクションのなかから、代表作を含む約 60 点の作品と当時の写真や資料によってこの美術運動を紹介します。

つきましては、ぜひ本展を広くご紹介いただきますようお願い申し上げます。広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券もご用意しております。ご希望の場合は、別紙の FAX 用紙をご送付ください。その他、ご不明な点や資料のご要望等がございましたら、どうぞ当館までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬具

- 会 期 等 平成 23 年 4 月 26 日 ( 火 ) - 6 月 26 日 ( 日 )  
 休館日：月曜日  
 開館時間：午前 10 時 午後 6 時 ( 金・土曜日は午後 8 時まで )  
 入場は閉館の 30 分前まで
- 会 場 兵庫県立美術館 企画展示室  
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 TEL 078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp>
- 主 催 兵庫県立美術館、産経新聞社、神戸新聞社
- 学 術 協 力 レンバツハハウス美術館
- 後 援 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、ドイツ文化センター・大阪、NPO 法人神戸日独協会、財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、関西テレビ放送、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、サンテレビジョン、ラジオ大阪、ラジオ関西、Kiss FM KOBE
- 協 力 ルフトハンザ ドイツ航空、ルフトハンザ カーゴ AG、ホテルオークラ神戸
- 観 覧 料 一般 1,300(1,100)円、大学生 900(700)円、高校生・65 歳以上 650(550)円、中学生以下無料  
 ( )内は前売りおよび 20 名以上の団体割引料金(高校生・65 歳以上は前売りなし)  
 障害のある方とその介護の方 1 名は各当日料金の半額(65 歳以上除く)  
 コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)  
 前売券は 4 月 25 日まで販売します。会期中は前売券を販売いたしません。

#### 関連事業

- ( 1 ) 記念講演会「カンディンスキーのミュンヘン時代 - 抽象絵画誕生と諸芸術の総合化への道」  
 ・日時：5 月 15 日 ( 日 ) 午後 2 時 ~ 午後 3 時 30 分  
 ・講師：山野 英嗣 氏 ( 京都国立近代美術館 学芸課長 )  
 ・会場：ミュージアムホール ( 定員 250 名 ) 聴講無料 ( 要観覧券 )
- ( 2 ) 記念レクチャーコンサート  
 「シェーンベルクとカンディンスキー 抽象絵画から無調音楽へ」( 仮題 )  
 ・日時：5 月 8 日 ( 日 ) 午後 2 時 ~  
 ・講師：岡田 暁生 氏 ( 京都大学人文科学研究所 准教授 )  
 ・ピアノ：小坂 圭太 氏 ( お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 准教授 )  
 ・会場：ホワイエ ( 定員 100 名 ) 鑑賞無料  
 兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会共催事業
- ( 3 ) CD コンサート & レクチャー  
 ・日時：5 月 28 日 ( 土 ) 午後 3 時 30 分 ~ 午後 5 時  
 ・講師：相良 周作 ( 当館学芸員 )  
 ・会場：レクチャールーム ( 定員 100 名 ) 聴講無料  
 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」共催事業

(4) 学芸員による解説会

- ・日時：5月7日(土)、5月21日(土)、6月4日(土)、6月18日(土)  
いずれも午後4時から約45分
- ・会場：レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

(5) こどものイベント

- ・日時：5月5日(木・祝) 午前10時30分～午後3時30分
- ・会場：アトリエ2
- ・参加人数：小中学生とその保護者合わせて30名 要事前申込 有料

(6) およこ解説会

- ・日時：6月11日(土) 午後1時30分～午後2時
- ・会場：レクチャールーム
- ・参加人数：小学生とその家族合わせて100名 参加無料

(7) ミュージアム・ボランティアによる解説会

- ・日時：会期中の毎週日曜日 午前11時から約15分
- ・会場：レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

## 展覧会構成

\* 20 世紀最初の 10 数年間に新たな絵画世界を開拓したカンディンスキーらの表現の展開を、年代を追ってたどれるよう構成しています。

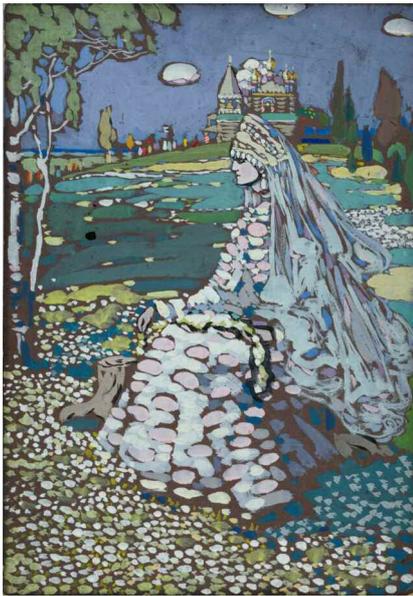
作品はいずれも「レンバッハハウス美術館蔵 Städtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau München」。

## 序章 フランツ・フォン・レンバッハ、フランツ・フォン・シュトゥックと芸術の都ミュンヘン

序章では、カンディンスキーが絵を学んだ 19 世紀末ミュンヘンの芸術的環境を紹介すべく、当時活躍していた二人の画家の作品を展示します。レンバッハは当時、偉大な肖像画家と見なされ、その邸宅がレンバッハ美術館となりました。シュトゥックはカンディンスキーやクレーの絵の先生でした。

## 第1章 ファーランクスの時代 旅の時代 1901 1907 年

カンディンスキーは、美術アカデミーでシュトゥックに師事しますが、旧弊な美術教育に反発し、仲間とともにファーランクスというグループを結成します。このグループが開設した絵画教室の生徒のなかに後に伴侶となるガブリエーレ・ミュンターがいました。カンディンスキーとミュンターは、オランダやドイツ、フランスなど各地を旅しながら、制作に励みます。



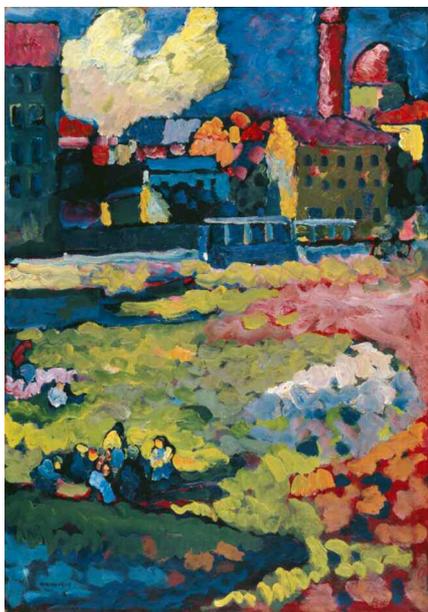
ヴァシリー・カンディンスキー《花嫁》1903 年



ヴァシリー・カンディンスキー《ガブリエーレ・ミュンターの肖像》1905 年

## 第2章 ムルナウの発見 芸術的総合に向かって 1908 1910年

長い旅の後、ミュンヘンに帰ってきたカンディンスキーとミュンターは、ミュンヘンの南西、バイエルン・アルプスふもとの小さな村ムルナウを発見します。その美しさに魅せられた二人は友人の画家夫婦ヤウレンスキーとヴェレフキンをこの村に呼んで、共同で制作を行いました。近代美術の歴史を変えた、色彩豊かで大胆な新しい絵画表現は、この村で始められたのです。



ヴァシリー・カンディンスキー《ミュンヘン - 郊外》1908年



ヴァシリー・カンディンスキー《ムルナウ近郊の鉄道》1909年

## 第3章 抽象絵画の誕生 青騎士展開催へ 1911 1913年

カンディンスキーは、より急進的な表現を進め、穏健派の画家仲間との確執が表面化します。彼は盟友マルクらとともに新たなグループを結成、来たるべき芸術のあり方を指し示した画期的な展覧会、第1回青騎士展は、1911年12月に開催されました。1914年大戦勃発により離散を余儀なくされるまで、彼らはそれぞれ注目すべき活動を展開し、カンディンスキーは、抽象絵画という未曾有の表現に到達します。



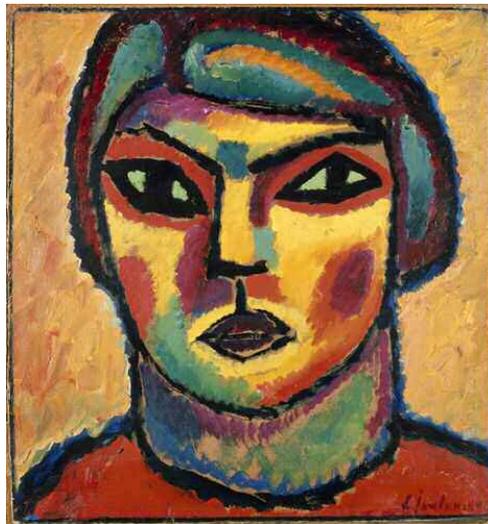
ヴァシリー・カンディンスキー《印象（コンサート）》1911年



フランツ・マルク《牛、黄 赤 緑》1911年



フランツ・マルク《虎》1912年



アレクセイ・ヤウレンスキー《成熟》1912年頃

---

お問合せ先 兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】 担当学芸員 相良 周作、速水 豊

TEL:078-262-0909 (直) FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL:078-262-0905 (直) FAX:078-262-0903

---

#### 広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

上記図版を媒体掲載される際には、作者名、作品名、制作年、所蔵先「レンバツハハウス美術館蔵 Städtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau München」を必ず記載してください。

色彩革命！ - モダン・アートはここから始まった。  
 レンバウハウス美術館所蔵

〒651-0073  
 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1  
 電話 (078) 262 - 0905 (直通)

# カンディンスキーと青騎士

**営業・広報グループ 宛**  
**F A X ( 0 7 8 ) 2 6 2 - 0 9 0 3**

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	ヴァシリー・カンディンスキー《「コンポジション 」のための習作 2》 1913 年
2	ヴァシリー・カンディンスキー《花嫁》1903 年
3	ヴァシリー・カンディンスキー《ガブリエーレ・ミュンターの肖像》1905 年
4	ヴァシリー・カンディンスキー《ミュンヘン - 郊外》1908 年
5	ヴァシリー・カンディンスキー《ムルナウ近郊の鉄道》1909 年
6	ヴァシリー・カンディンスキー《印象 (コンサート)》1911 年
7	フランツ・マルク《牛、黄 赤 緑》1911 年
8	フランツ・マルク《虎》1912 年
9	アレクセイ・ヤウレンスキー《成熟》1912 年頃

上記図版を媒体掲載される際には、作者名、作品名、制作年、所蔵先「レンバウハウス美術館蔵 Städtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau München」を必ず記載してください。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名分希望	

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。